

立体型2重編ネット

- ① 立体構造の2重編ネットに植生袋・肥料袋を装着したマットです。
- ② 画期的な飛来種子捕捉機能があります。
- ③ 耐浸食・保温性が長期間持続し、確実にのり面を保護します。
- ④ 主構成材料は、生分解性の素材ですので自然に還ります。
- ⑤ 植生袋には、無播種タイプ・国内採取種子タイプがあります。

■治山



施工直後



施工後4か月

■林道



施工直後



施工後2年

■侵入植物の例



■無処理区との侵入植生比較 (左:無処理区 右:飛来ステーション)



施工直後

施工後11か月

■従来の植生マットとの植生比較 (左:飛来ステーション 右:植生マット)



施工直後

施工後11か月

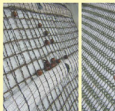
# 飛来種子による植生侵入を促進することができる 植生マットです!!

## 飛来種子捕捉性能

試験条件 ● 勾配:1:1.0 ● 落下高さ:3m ● 使用種子:アラカシ/ヨモギ/試験区、ヤマハハジ/試験区

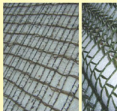
### ■試験結果/アラカシ

飛来ステーション 植生マット



### ■試験結果/ヤマハハジ

飛来ステーション 植生マット

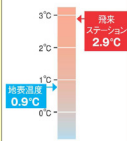


種子捕捉能力は、従来の植生マットよりも飛来的にアップします。

#### 試験結果

種子	飛来ステーション	植生マット
アラカシ	32粒/100g	3粒/100g
ヤマハハジ	10粒/100g	1粒/100g

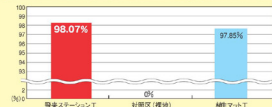
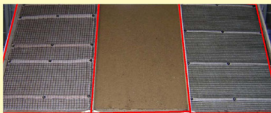
## 保温性能



飛来ステーション(特殊薄織) 従来製品(薄織)

試験条件 ●土質:粘性土 ●測定機器:サーモコーダー-TR-71

## 耐浸食性能

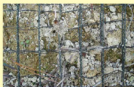


■対照区(裸地)の耐浸食性能を基準(10)とした各工法の相対値です。

試験条件 ●土質:マサ土 ●土壌深度:25mm ●勾配:1:1.0 ●雨量強度:30mm/h(1時間連続降雨)

## 長期浸食防止性能

従来製品(薄織)



飛来ステーション(特殊薄織)



施工後6ヶ月



施工後1年

従来品に使用している薄織では、施工後半年程度で分解され、薄織の浸食防止機能は失われます。しかし、本製品に使用している特殊薄織は、施工後1年が経過しても浸食防止機能を維持しています。

## ■標準規格

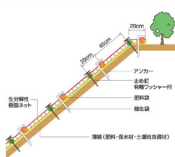
製品規格				ネット				1袋入数	備考
幅	長さ	肥料袋間隔	植生袋間隔	材質	形状	標準目合	色		
1m	10m	60cm	60cm	生分解性界面	立体型2重編みネット	25mm×25mm	ブラウン	20m <sup>2</sup>	

## 施工方法

- ① り面の雑草木、浮土砂、浮石などを除去し、マットが密着するよう清掃を行う。
- ② りり肩部を20cm程度巻き込み、巻端の付いている面をのり面に密着するように展開する。
- ③ 横の重ね幅は2cm程度、縦の重ね幅は10cm程度とする。
- ④ マットは、肥料袋・植生袋を等高線状に展開する。
- ⑤ 所定本数のアンカー・止め釘を規定の間隔・箇所打ち込み密着させる。

注) 降雨時の施工は避けてください。

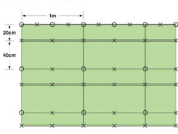
## 張付方法



## アンカー・止め釘打込み位置

○ アンカー(φ9mm×200mm) × 止め釘(有眼フッシャー付)150mm

—— 肥料袋 —— 植生袋



アンカー・止め釘、打込み位置については標準として併用していただきますが、現地条件に合わせて変更が対応してまいります。